

12月15日(金)の弁当デーにもちつき会をしました。  
家庭で体験することが少なくなった杵(きね)と臼(うす)を用いたもちつきです。つき手としてお父さん、おじいちゃん、もみ手としておばあちゃんにお手伝いしていただきました。

年齢の小さい子は杵と臼を初めてみる子どももいます。準備している時から、興味深い様子でランチルームを覗き込む子ども達でした。

蒸しあがった餅米を臼に移し、始まりです。つき始めは杵で米を押しつぶし、ある程度まとまったらぺったん、ぺったんとつきます。

初めて餅つきを経験されるお父さんも、ベテランのおじいちゃんのご指導で力強くついてくださいました。



子ども達も子ども用の杵で順番につきました。力強くつける子もいて、歓声があがるほどでした。子ども達とみなさんのお陰でとってもいいお餅ができました。



お餅がつきあがると、今度は丸めます。ちぎってもらったものを子ども達が丸めます。やり方を教えてもらうと、とっても上手に丸めていました





ひまわり組以上の子は取り餅にして、きな粉をつけて朝のお茶の時間に食べました。年長児もつきたてを食べ「**おいしい!**」「**うま~い!**」と大絶賛でした。



お忙しい中、お手伝いをしてくださったみなさん、本当にありがとうございました。伝統行事のもちつきを目の前で見ることができ、子ども達もとても喜んで、楽しむことができました。小さいクラスの子ども達も、お餅つきの様子を興味深くみることができました。

**お世話になりました。ありがとうございました。**